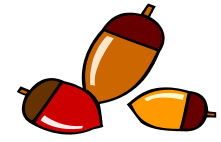




学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



10月号

学校教育目標 ①いさつから輪を広げる子 ②ふうして学び続ける子 ③たしもあなたも命を大切にする子

自信をもって表現できる子に

副校長 武 藤 晋

朝晩、涼しく感じる日が増えてきました。校庭の木々も少しずつ葉を落とし始め、秋の訪れを感じます。前期も残すところ一週間。平成30年度も折り返し地点になりました。

先日、3・4年生の校外学習「子どものアトリエ」に同行しました。

横浜美術館の一室で、専門スタッフに指導を受けながら、思い切り造形活動を楽しんできました。毎年行ける活動ではないので、子ども達にはとても良い経験になったことと思います。

今回の活動は、段ボールと絵の具を使った活動でした。細かな内容まで知らされていなかったため、子ども達はわくわく、ときどきしていたのではないかと思います。

はじめに、広いフロアで大きな段ボールを三角柱のように組み立てました。

次に、三角柱の段ボールから、金ノコを使って、思い思いに窓をくりぬいていきます。初めは、四角い窓や小さな窓が多かったのですが、道具の使い方に慣れると同時に、他グループや友達の活動が刺激になったのか、だんだんいろいろな形や大きさの窓が出来上がっていきます。子ども達の表情が生き生きと輝いていきました。それぞれが、時間を忘れて、自分なりの表現を思い切り楽しんでいるようでした。

そのあと、切り抜いた段ボールを組み合わせた、三角柱の段ボールに絵の具を使って、思い思いの模様を描いたりしました。

最後に、グループごとの作品を集め、鑑賞しあった時に、ライトを消すと、子ども達の描いた模様が浮かび上がり、幻想的な作品が目の前に現れました。模様を描くのに用いていた絵の具は、蛍光絵の具だったのです。

歓声があがるほど、自分たちの作品の出来栄に大喜びの一瞬でした。グループで協力する場面、周りを見て学ぶ場面、自分の思いついたことや感じたことを表現する場面、お互いの作品を見合い、認め合う場面など、2

時間弱の活動の中にたくさんの学びの場がありました。そして、何よりも、一人ひとりが、自分の考えたことや感じたことを思い切り表現したからこそ素晴らしい作品が出来上がったのだと思います。

本校では、今年度も「自ら考えをもち、『自信をもって表現できる子』の育成」をテーマに研究に取り組んでいます。自分の考えや思ったことを書き表すことを支援の中心にすえながら、子ども達の考えや思いをしっかりと引き出し、話し合いや学び合いを通して学びを深め、自分に自信をもって表現できるように、そして、子ども達のかがかやく姿を日々求めていきたいと思っています。



思い思いの窓を切り抜く様子

